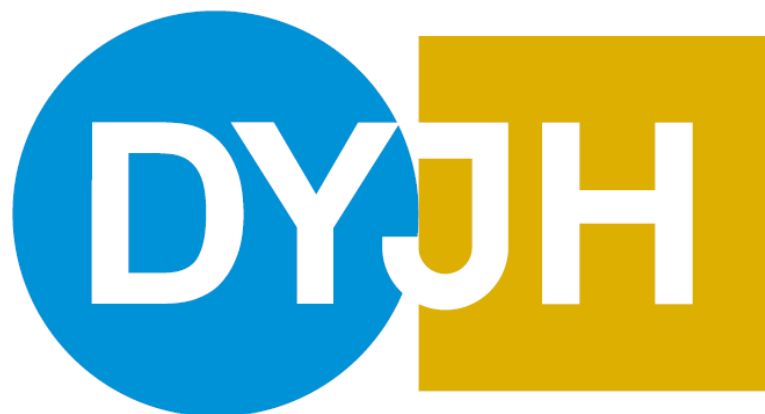




ダイナムジャパンホールディングス

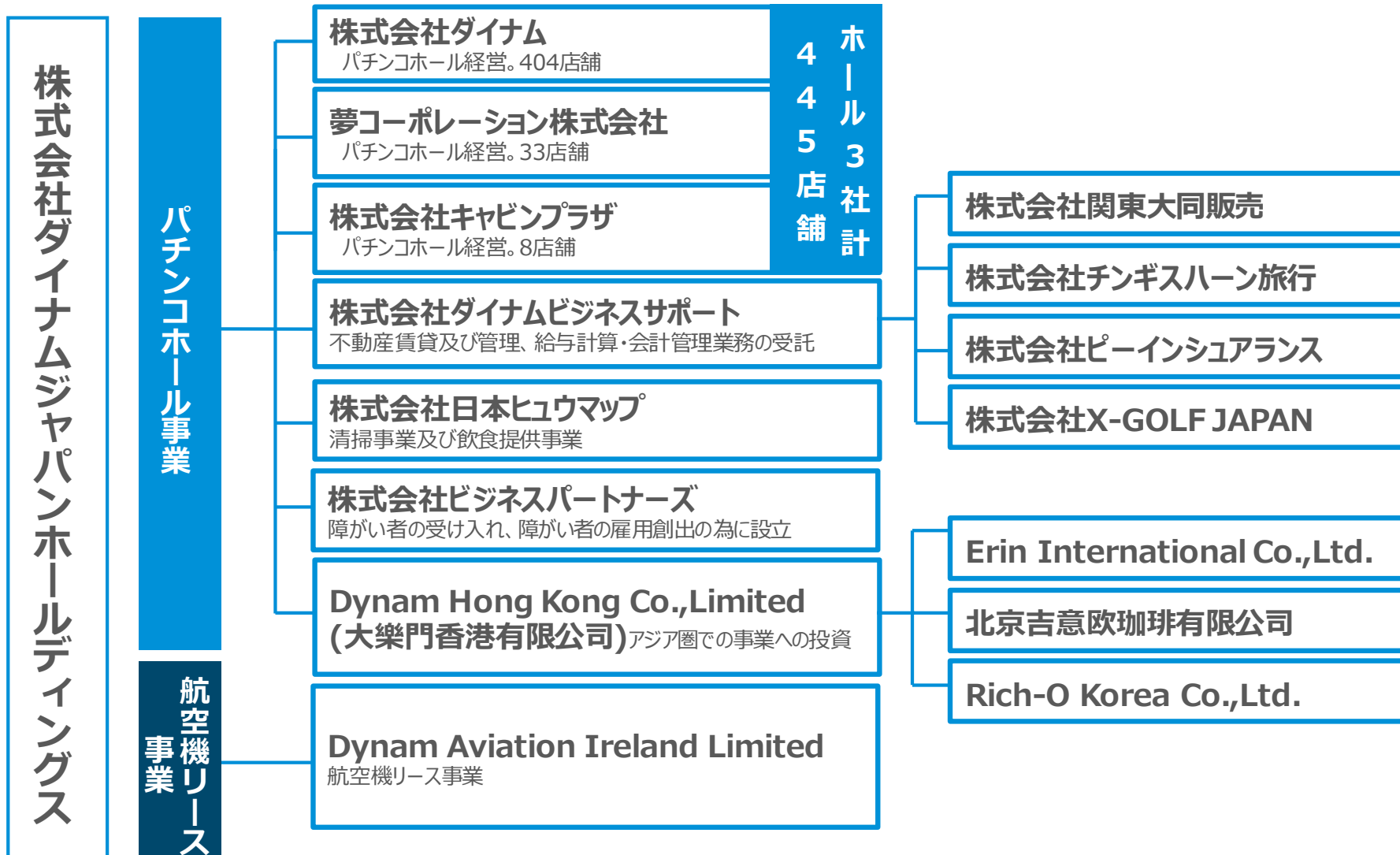
2021年3月期 中間決算説明会
(参考和訳)

2020年11月26日

【目次】

1. 中間期業績ハイライト①（グループ連結）
2. 中間期業績ハイライト②（基幹会社ダイナム）
3. パチンコホール事業
4. 航空機リース事業・その他事業
5. 財務状況

DYJHグループ企業組織図（2020年11月26日現在）



【目次】

1. 中間期業績ハイライト①（グループ連結）
2. 中間期業績ハイライト②（基幹会社ダイナム）
3. パチンコホール事業
4. 航空機リース事業・その他事業
5. 財務状況

1. 中間期業績ハイライト①（グループ連結）

（単位：百万円）

	当中間期	前中間期	前年同期比	増減
営業収入	45,992	74,052	62.1%	▲28,060
営業費用	46,840	61,220	76.5%	▲14,380
営業利益	2,781	14,042	19.8%	▲11,261
中間利益	689	8,696	7.9%	▲8,007

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、パチンコホール事業で4月から5月にかけて約97%の店舗が休業を余儀なくされた結果、グループ全体の収益が大きく低下。
- ・営業再開に伴い、6月より持ち直し、中間利益黒字を確保。

2. 中間期業績ハイライト②（基幹会社ダイナム）

（単位：百万円）

	当中間期	前年同期比	増減	概要
営業収入	42,456	61.5%	▲26,626	新型コロナウイルスの影響による店舗休業 集客回復の鈍化
機械費	5,072	43.4%	▲6,608	遊技機購入を抑制
人件費	19,365	86.8%	▲2,955	パート人件費の抑制 給与・賞与の減額
その他費用	20,420	84.1%	▲3,873	店舗営業費用の削減
営業外損益	3,255	532.7%	2,644	雇用調整助成金の受取り
経常利益	854	7.5%	▲10,546	—

※パチンコホール事業の中核会社（ダイナム）の日本基準での中間決算数値

2. 中間業績ハイライト②（基幹会社ダイナム）

項目	当中間期	前中間期	増減	概要
店舗数	404舗	405店舗	▲1店舗	新規開店：茨城稲敷店 閉店：群馬伊勢崎店、西日暮里店
パチンコ稼働率 (※①)	27.3%	42.2%	▲14.9pt	競合店差+3.8pt (※②)
スロット稼働率	27.6%	39.2%	▲11.6pt	競合店差+0.3pt (※②)
設置台数	189,339台	188,765台	+574台	設置台数シェア4.5%
P B機設置台数	14,969台	11,393台	+3,576台	設置割合11.3% (前中間期との差+2.8pt※③)

※① 稼働率・・・ピーク時（15時前後）の[実客数/設置台数]

※② 競合店の値は全国のダイナム店舗近隣に所在する1,300店舗に対して実施している客数調査をもとに算出

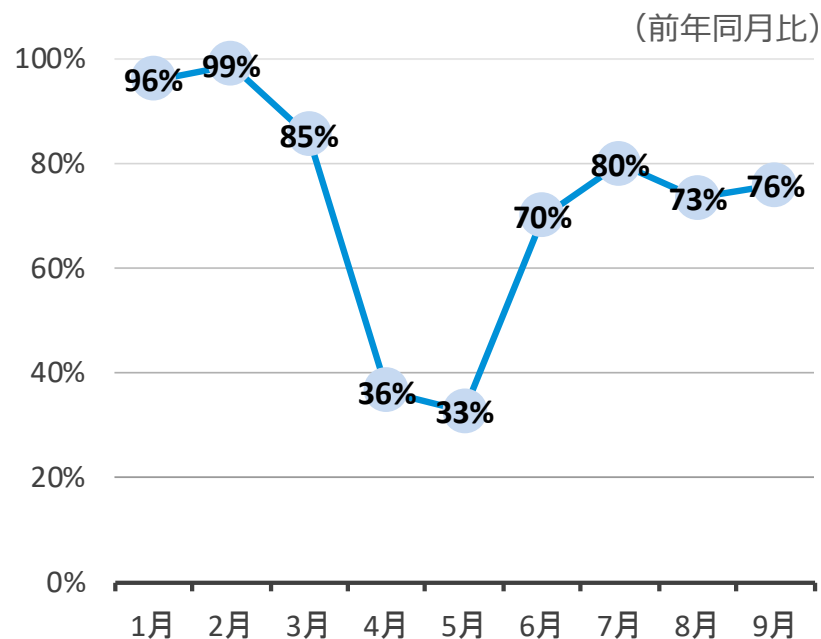
※③ 設置割合はパチンコ設置台数に対する割合

【目次】

1. 通期業績ハイライト①（グループ連結）
2. 通期業績ハイライト②（基幹会社ダイナム）
- 3. パチンコホール事業**
4. 航空機リース事業・その他事業
5. 財務状況

3. パチンコホール事業

(1) 営業収入の変動 (パチンコホール3社計)



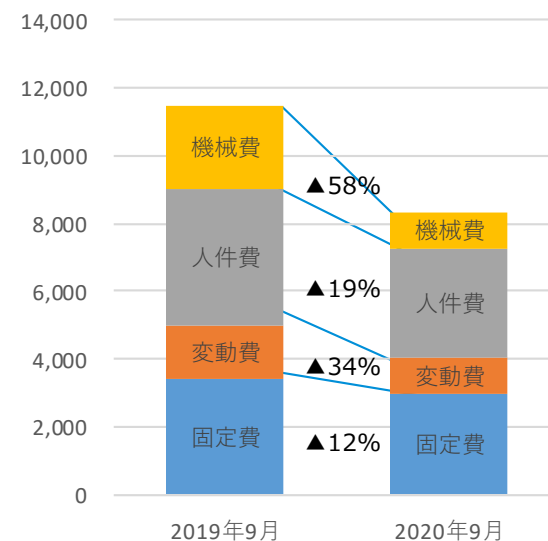
・緊急事態宣言発出
(4月16日全国)
・一時休業436店舗

・5月度営業日数
前年同月比
53%

・6月1日
全店営業再開

(2) 上期収益構造

(単位:百万円)



■ 営業収入の減少に伴い、徹底した経費削減を継続。

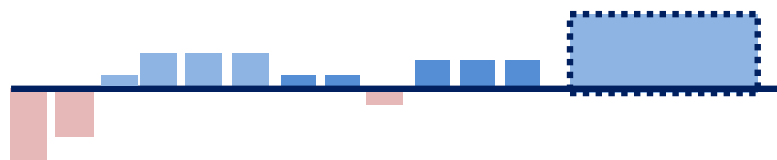
※人件費は、政府からの助成金である「雇用調整助成金」を含まず

3. パチンコホール事業

(3) 下期の見通し

■ 損益見通し

上期	下期	通期
減益ながら 黒字確保	黒字基調を 確立	減益見通しも 来期へ向けた 基盤を確立



■ 営業収入回復に向けて

- ① コロナ禍において、遊技復帰していない顧客層に対し、店舗の安全性を訴え、再来店を促進。

ガイドラインに沿った
コロナ対策
オペレーション

衛生対策の
新規展開

光触媒
コーティング



自動検温
装置



オゾン
発生装置



- ② 一方、業績回復に時間がかかることも考慮し、各種経費の抑制を下期も継続。

3. パチンコホール事業

(4) コロナウイルス感染防止対策状況



遊技機消毒



飛沫防止ボード①



飛沫防止ボード②



ソーシャルディスタンス①



ソーシャルディスタンス②



手指消毒



喫煙室 非対面



体温チェック

【目次】

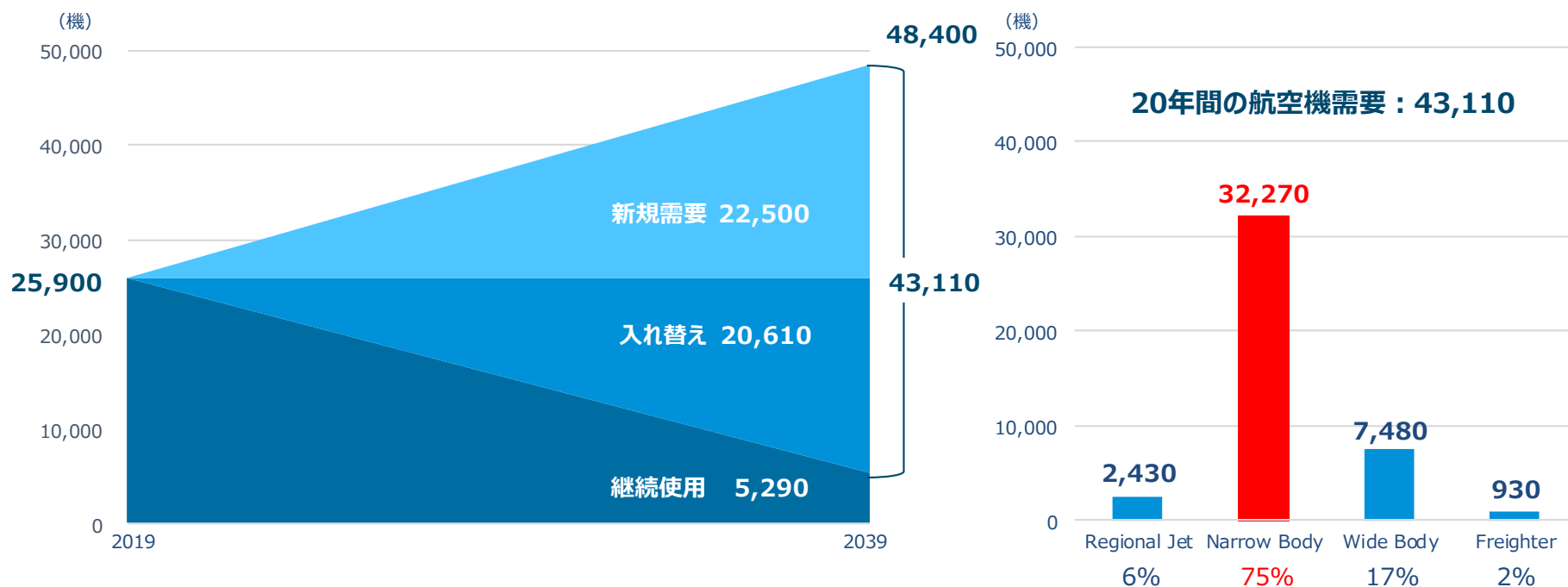
1. 中間期業績ハイライト①（グループ連結）
2. 中間期業績ハイライト②（基幹会社ダイナム）
3. パチンコホール事業
- 4. 航空機リース事業・その他事業**
5. 財務状況

4. 航空機リース事業

■ 事業環境

足元では航空業界に対して大打撃が及んでいるものの、中長期的には世界の航空機需要の拡大は続くと予想。中でもナローボディ機は引続き高い需要が見込まれている。

<今後20年間の航空機需要予測> 「Boeing Commercial Market Outlook2020-2039」資料より



4. 航空機リース事業

■ 当中間期の状況

・フリート	3機（A320、A320neo、A321neo）
・平均機齢	1.7年
・平均残存リース期間	5.0年
・顧客エアライン数	2社（Vueling、IndiGo）
・フリートバリュー	USD147.4M（155.9億円）
・リース料収入	USD6.9M（7.3億円）
・営業利益	USD1.1M（1.2億円）
・利回り	8.8%（表面利回り、年換算）

■ 今後について

航空会社の財務状況等を注視しながら、製造後5年以内のナローボディ機を中心に慎重に商談を進めていく方針。

その他事業

時間消費型 ビデオスロットマシンの開発

■ 販売活動

マカオのカジノ施設は厳格な防疫対策を講じた上で営業を続けているが、中国本土からの入境制限の影響によりカジノ来場客が大幅に減少。2020年9月現在、カジノ総粗利は前年同期比▲90%の推移。
→現在、マカオ経済の回復を待っている状況。客数が正常化次第、販売活動を再開

■ 開発認可

(参考) マカオ = DICJ、シンガポール = CRA

機種名	認可・申請状況
パチンコボーナスシリーズ1号機	マカオ認可済、 20年5月 シンガポール認可
パチンコボーナスシリーズ2号機	マカオ認可済、 20年5月 シンガポール認可
パチンコボーナスシリーズ3号機	マカオ認可済、 20年9月 シンガポール認可
パチンコボーナスシリーズ4号機	20年9月 マカオ認可 、シンガポール申請中

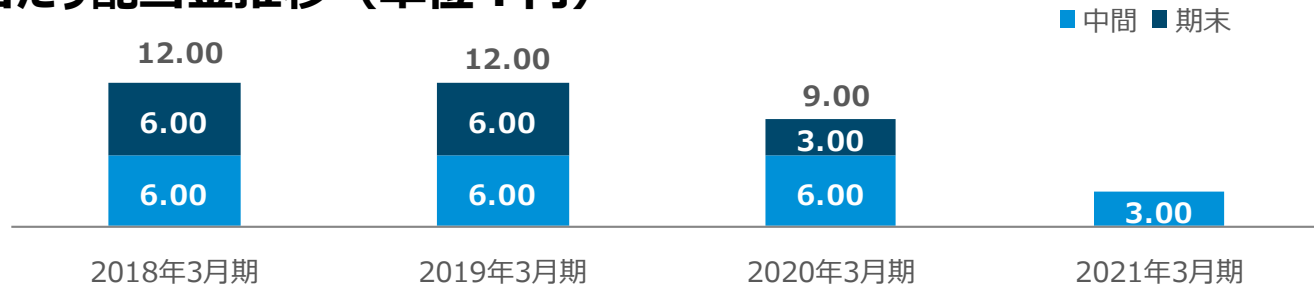
マカオで新たに1機種、シンガポールで3機種の認可を取得
既にマカオで6機種、シンガポールで3機種の認可を取得しており、今後アジア圏での販売を計画

中間配当金 1株当たり配当金3.00円

◆配当額

	当中間配当	前中間配当	前期期末配当
配当基準日	2020年12月14日	2019年12月9日	2020年6月8日
1株当たり配当金	3.00円	6.00円	3.00円
配当金総額	2,277百万円	4,596百万円	2,298百万円
配当金支払日	2021年1月13日	2020年1月10日	2020年6月24日

◆1株当たり配当金推移（単位：円）



（参考）当中間期において、自社株式 6,951,600株（発行済株式の約0.9%）の市場買付を実施しています。

【目次】

1. 中間期業績ハイライト①（グループ連結）
2. 中間期業績ハイライト②（基幹会社ダイナム）
3. パチンコホール事業
4. 航空機リース事業・その他事業
- 5. 財務状況**

5. 財務概況

連結損益計算書（IFRS）

（単位：百万円）

	前中間期 (2019/9)	当中間期 (2020/9)	増減	補足説明
営業収入	74,052	45,992	▲28,060	
パチンコ事業収入	73,970	45,255	▲28,715	高貸玉店舗 21,757(▲14,557) 低貸玉店舗 23,498(▲14,158)
航空機リース事業収入	82	737	655	
パチンコ事業費用	63,473	48,478	▲14,995	機械費 ▲7,481 人件費 ▲2,898
航空機リース事業費用	86	444	358	
その他収入	4,369	6,142	1,773	自販機手数料収入 ▲983 雇用調整助成金 +3,225
その他費用	820	431	▲389	
営業利益	14,042	2,781	▲11,261	前年同期比 19.8%
金融収益	286	154	▲132	
金融費用	1,178	1,458	280	
税引前中間利益	13,150	1,477	▲11,673	前年同期比 11.2%
中間利益	8,696	689	▲8,007	前年同期比 7.9%
EBITDA	19,638	7,854	▲11,784	

（注）EBITDA は、中間利益に金融費用、税金、減価償却費及び外貨建資産換算差損益を加えて計算しております。

5. 財務概況

連結財政状態計算書（IFRS）

（単位：百万円）

	前期末 (2020/3)	当中間期末 (2020/9)	増減	当中間期末の主な内訳・前期からの増減等
資産合計	277,239	296,384	19,145	有形固定資産 100,588
				使用権資産 79,027
				現金及び預金 67,840
				繰延税金資産 14,254
				リース債権 7,424
負債合計	142,507	164,156	21,649	リース負債 93,381
				未払金・未払費用 14,487
				有利子負債 35,244
資本金	15,000	15,000	-	
剰余金等	119,732	117,228	▲2,504	中間利益 +689
				前期期末配当支払 ▲2,298
				自己株式の取得及び消却 ▲755
				その他の中間包括利益 ▲140
資本合計	134,732	132,228	▲2,504	連結自己資本比率 44.6%
負債及び資本合計	277,239	296,384	19,145	

連結有利子負債及び自己資本比率（IFRS）

（単位：百万円）

【連結有利子負債】

	前期末 (2020/3)	比率	当中間期末 (2020/9)	比率
現金及び預金	41,810	15.1%	67,840	22.9%
有利子負債(パチンコ事業)	2,007	0.7%	24,816	8.4%
有利子負債(航空機リース事業)	11,221	4.0%	10,428	3.5%
資産合計	277,239	100.0%	296,384	100.0%

（注）新型コロナウイルス感染症拡大に備えた資金調達の実行により保有資金量が増加。

【連結自己資本比率】

	前期末 (2020/3)	比率	当中間期末 (2020/9)	比率
資本金	15,000	5.4%	15,000	5.1%
剰余金等	119,732	43.2%	117,228	39.6%
純資産	134,732	48.6%	132,228	44.6%
資産合計	277,239	100.0%	296,384	100.0%

基幹会社ダイナムの概況（日本基準で決算実施）

（単位：百万円）

	前中間期 (2019/9)	当中間期 (2020/9)	増減	補足説明
遊技業収入	66,774	41,076	▲25,698	前年同期比増減 P : ▲15,736 S : ▲9,962
自販機手数料収入	2,308	1,381	▲927	
販売費及び一般管理費	58,294	44,858	▲13,436	前年同期比増減 機械費 ▲6,607 店舗営業経費等 ▲6,829
営業利益	10,788	▲2,401	▲13,189	
経常利益	11,400	854	▲10,546	前年同期比 7.5%
特別利益	1	—	▲1	
特別損失	201	114	▲87	
中間利益	7,664	371	▲7,293	前年同期比 4.8%
	前期末 (2020/3)	当中間期末 (2020/9)	増減	補足説明
総資産	117,324	134,244	16,920	現金及び預金+14,870
負債	28,168	46,981	18,813	短期借入金+18,189
純資産	89,156	87,263	▲1,893	中間利益371、親会社への配当支払▲2,279
自己資本比率	76.0%	65.0%	▲11.0	

免責事項と著作権について

この資料に掲載されている今後の予測・戦略等に関する情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別事情の発生などにより、本資料掲載の見通しとは異なる結果を生じるリスクを含んでおります。

当社と致しましては、投資家の皆様にとって重要と考えられる情報につきましては開示に努めて参りますが、本資料掲載の見通しのみに全面的に依拠してご判断されることは、くれぐれもお控えいただきますようお願い致します。

なお、いかなる目的であっても、当社の事前の同意がない限り、当資料を無断で複写複製、または転送等を行わないようお願い致します。

●お問合せ

(株)ダイナム 情報管理部 広報担当

TEL 03 - 3802 - 8285 FAX 03 - 3802 - 8563